

野村不動産アーバンネット 吉祥寺営業部 営業一課 課長 星伸 一郎氏(40)

謙虚に「常に学ぶ」姿勢貫く

星伸一郎氏(40)が野村不動産アーバンネットに入社したのは平成13年4月。同社が分社化によって野村不動産から独立、首都圏の不動産流通業務、販売受託業務などを讀り受け営業開始したときだ。それは、野村不動産グループが大きく飛躍する助走の時期でもあった。前職では不遇の時代もあったが、同社への入社で人生が一変した。「いい会社、いい人にめぐり合えた」と感謝しながら、今は同社吉祥寺営業部・営業一課の課長としてその手腕を発揮している。



“元氣印”
人と企業

一から十まで学んだ柏時代

星氏は同社に入社するまでの11年間は千葉県松戸市に拠点を置く不動産管理会社で、いた管理戸数は全国住居の家の回収メンテナンス、修繕クレーム業務を担当していた。この会社で営業の原点を身につけた。

「管理戸数は1万数千戸ありましたが、1年365日、オナーからいつ呼び出しがかかるかわかりませんから、それ

「社員を大切に会社だと思いました」

は大変な仕事でした。かし、1軒1軒、オナーを聞いて問題を解決するが仕事です。お誘いするオナーの方々は私より年齢はるかに高い人生の先輩です。人

は大変な仕事でした。かし、1軒1軒、オナーを聞いて問題を解決するが仕事です。お誘いするオナーの方々は私より年齢はるかに高い人生の先輩です。人

は大変な仕事でした。かし、1軒1軒、オナーを聞いて問題を解決するが仕事です。お誘いするオナーの方々は私より年齢はるかに高い人生の先輩です。人

は大変な仕事でした。かし、1軒1軒、オナーを聞いて問題を解決するが仕事です。お誘いするオナーの方々は私より年齢はるかに高い人生の先輩です。人

は大変な仕事でした。かし、1軒1軒、オナーを聞いて問題を解決するが仕事です。お誘いするオナーの方々は私より年齢はるかに高い人生の先輩です。人

平成13年入社 分社化・独立の歴史とともに歩む



きた。野村不動産もその翌年、マンションブランドをブランドに統一して圧倒的なブランド構築を進めていた。まさに野村不動産グループが新たな飛躍を目指し、大きく変わろうとしているときだった。

「入社当時、分社化して会社全体が盛り上がり、というときで、役員面でも北村社長、永津社長に会ったときは、緊張して何を言えなかったか。覚えていませんが、社を大切にすることを、とうとう口で言えました。父にも転職について相談したら「頑張れよ」といってくれた。幸運にも同社に合じた星氏が、もう一つ恵まれたのは最初の配属先、柏センターでの経験だった。

柏センターは、当社の首都圏で最北端の仲介店として、他の競合も少なく、支店長を始め、いい人ばかりでした。アットホームな感じ、社内雰囲気、とてもよかったです。非常にいい会社に入れたとつくづく思いました。柏では、一から十まで学びました。

